



前津江

Maetsue



伝統を受け継ぐ炭

1月25日、出野地区（田代）で炭焼きが行われた。かつてこの地区は炭焼きが盛んだったが、今残っている窯は一つ。この日は、有志数人が集まり炭焼きを体験した。生木はとても重いため狭い入口から入れ、中で立てかけるといふ作業は一苦勞。火入れのあとは中の様子を見ることはできないため、全て煙突から出てくる煙を見て判断していた。



前津江町が真っ白に

1月8日、5年ぶりに大雪警報が発令され、真っ白な雪景色となった。ここ数年、うっすらと雪が積もることはあったがここまで積もるのは久しぶりのこと。この日は、除雪車が朝と昼に動いていたが、それでも雪が積もる大雪となった。所々で雪だるまを作ったり、雪で遊んだり、久しぶりの雪を楽しむ光景があった。



日田

Hita



活動の成果を発表！

1月25日、令和2年度地域おこし協力隊員の活動報告が行われ、任期満了した協力隊員がこれまでの取り組みや活動の成果を発表した。「地域の皆さんに育てていただき、感謝でいっぱいです」と語った協力隊員の皆さん。活動を通して成長できたと話す姿に、市長は「これからも日田に住む者同士、地域と一緒に盛り上げていきましょう！」と応えた。



地域の防災に貢献！消防団一般表彰

1月21日、市役所で消防団一般表彰が行われた。表彰されたのは、令和2年7月豪雨で地域住民の適切な避難に貢献した赤岩自治会杉河内班代表の平野一義氏と咸宜公民館の火災の際、適切な初期消火で延焼を防いだ淡窓1丁目の濱田尚樹氏。市長は「地域のために尽力していただき、本当にありがとうございます」と2人に謝辞を述べた。

中津江

Nakatsue



ドローンによる救援物資配送

1月27日、災害時にドローンで救援物資を届ける公開訓練が実施された。ドローンには、生活に必要な物資を詰めた緊急セットや衛星電話が固定され、中津江振興局から集落まで飛行輸送された。徒歩で約50分を要する行程も3分ほどで到達し、救援者の二次被害を防いだり、早期の救援につながることから、参加した住民からも期待が寄せられている。



久しぶりの再会！

1月21日、なかつえ保育園で合同保育が行われた。訪れたのは上津江町のすぎっ子こども園の園児11人。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で例年より少ない2回目の開催となった。普段は6人で過ごしている中津江の園児たちは、久しぶりに訪れた友達とともに、楽しくダンスをしたり、園庭で元気に走り回るなど、にぎやかな一日を過ごした。



珍しい牛柄のウナギを展示中！

昨年10月から、珍しい色のウナギを博物館で展示している。このウナギは白地に黒い斑点があり、まるで牛のような模様をしていることから「ホルスタインウナギ」とも呼ばれている。日田漁業協同組合が養殖していた約3万匹の中に一匹だけいたもので、非常に珍しい。来館者は、「丑年に牛柄のウナギは縁起が良い」と喜んでいた。



オンライン移住相談会

2月11日、日田市オンライン移住相談会が開催された。個別相談者だけでなくフリーの参加者も先輩移住者の体験談を聞くことができ、ひた暮らしについてイメージを膨らませることができた。これまで対面であった移住相談も今ではオンライン相談が主流。移住希望者が自宅からリラックスして相談できる体制を整えている。